

きもつき 1 1 9

KIMOTSUKI FIRE DEPARTMENT

2025.10 VOL.111



佐多分署が実施した、磯場からの救出訓練の様子

秋季全国火災予防運動

令和7年11月9日～11月15日

～ 急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし ～

この運動は、毎年11月9日から11月15日まで、尊い命と大切な財産を火災から守ることを目的として実施されているものです。火災はちょっとした不注意や不始末から発生します。

火の取り扱いには十分注意し、大切な命と財産を火災から守りましょう。

令和7年出動状況			
火災出動	救急出動	救助出動	警戒出動
55件	5,671件	60件	662件

令和6年出動状況			
火災出動	救急出動	救助出動	警戒出動
79件	8,528件	77件	972件

編集・発行 大隅肝属地区消防組合
TEL 0994-52-0119
当番病院問合せ
TEL 0994-43-0119

※令和7年1月から8月31日まで（8か月間）

▼ HP



▼ Instagram



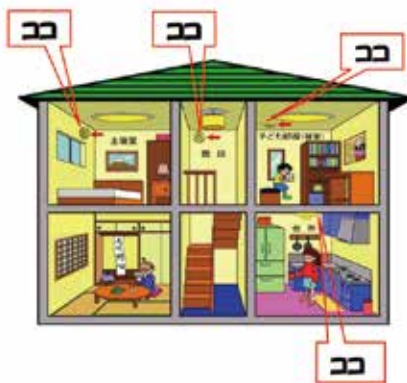


住宅用火災警報器（以下、住警器）は、火災発生時に煙や熱を感知して警報や音声などで危険を知らせる器具です。住警器の寿命は約10年といわれています。

正常に作動するか？警報音は鳴るか？いま一度、ご自宅の住警器を確認しましょう。

Q どこに取り付けばいいの？

- 原則として寝室と寝室がある階の階段上部に設置することが必要です。火災によって発生した煙は階段を通じて上の階へと広がることから、階段上部に設置した住警器が、上の階の部屋に煙が充満する前に感知して警報を鳴らし、早めの避難を促すことができます。台所に設置義務はありませんが、住宅の安全性を高めるために、設置をお勧めします。



Q 作動点検の仕方は？

- 本体の点検用ボタンを押す。点検用ひもを引いて作動を確認する。
- 警報音、音声は鳴るか確認する。
- 正常に作動しないときは、電池切れ、本体故障の可能性もあります。



Q 火災のときに鳴ったら？

- 火元を確認し、周りに大声で知らせる。
- 119番通報をして、可能であれば消火器を使って初期消火をする。
- 初期消火を失敗したとき、火が天井まで燃え広がったときは、すぐに避難しましょう。



Q 火災以外のときに鳴ったら？

- 警報音の停止ボタンを押す、点検用ひもを引く、室内の換気をする。
- 燻煙式殺虫剤（バルサン等）を使用したとき、調理時の大量な煙、湯気、ほこり、小さな虫の侵入で誤作動する可能性があります。

Q 電池切れの場合はどうすればいいの？

- 電池を新品に交換する。
- 購入から10年以上経過している器具は、本体内部の故障の可能性があるため、本体の交換をお勧めします。家電量販店、ホームセンター、インターネットなどで購入できます。



STOP! ヒートショック!

◎ヒートショックの原因としては...

- ・寒暖差、温度差による血圧の変動
- ・心筋梗塞、脳梗塞の発生

◎注意が必要な方、発生の多い時期は...

- ・高齢者の方で、高血圧、糖尿病、脂質異常症などの病歴がある方
- ・11月から4月にかけて多発

◎予防対策としては...

- ・入浴前に浴室と脱衣所を暖房等で暖めて湯温は41度以下に設定する。
- ・入浴前のかけ湯、入浴前後の十分な水分補給をする。飲酒後の入浴はしない。
- ・高齢者の入浴中は安否確認の声かけが大切です。



ヒートショックの対策



しっかり対策をして冬の感染症に注意しましょう!

冬に空気が乾燥し気温が下がると、人間の体温も下がります。低体温は身体の免疫機能を低下させ、乾燥は皮膚や粘膜の保護機能を低下させます。また、乾燥すると空気中のウイルスの滞在時間が長くなります。このようにいろいろな条件が重なることで、冬は感染症などにかかりやすくなります。

◎ インフルエンザウイルス、新型コロナウイルス

☞ 飛沫・接触で感染します。

◎ マイコプラズマ肺炎

☞ 発熱・咳が長引く場合は注意が必要です。

◎ ノロウイルス（感染性胃腸炎）

☞ 保育園・学校で集団発生の可能性があります。



★予防と対策は?★

◎ 予防接種

☞ 予防接種をすることで発症を抑える、重症化を防ぐ効果が高まります。

◎ 感染・予防対策

☞ 手洗い、うがい、マスク着用をして感染対策をしましょう。

☞ 室内の加湿・換気を定期的におこない、人混みを避けましょう。

◎ 体調管理

☞ 十分な休養、バランスの取れた食事を取り、免疫力を維持しましょう。

☞ こまめに水分補給して、喉の粘膜を潤しましょう。



NET119 緊急通報システム登録のご案内



NET119 緊急通報システムについて

- NET119 緊急通報システムは、音声を用いず、スマートフォンなどからインターネットを利用して119番通報できるシステムです。
- 聴覚や言語機能の障がいによって音声での会話が困難な方が利用でき、火災、救急、救助要請を必要とするときに、チャットにより詳しい状況を伝えることができます。
- 事前に利用登録が必要で、「自宅」や「よく行く場所」の住所を登録することで、簡単に通報場所を伝えることができます。
- 令和3年3月1日から運用を開始し、令和7年8月現在で45人の方が登録しています。

事前登録の仕方について

- 詳しい内容は、r.kimotsuki@net119.speecan.jp に空メールを送信するか、下記の二次元コード①を読み取ってください。
- 登録方法、利用方法については、下記の二次元コード②を読み取り動画をご参照ください。



お問合せ先
大隅肝属地区消防組合 指令課
電話：0994-52-0119
mail：sireika@fd-kimotsuki.jp

マイナ救急が始まります 令和7年10月1日 全国一斉に運用開始



もしもの時に備えて
マイナ保険証を携帯しましょう！

「マイナ救急」とは、マイナ保険証（健康保険証の利用登録をしているマイナンバーカード）を活用し、病院の選定などに必要な情報（受診歴、処方薬など）を救急隊が把握することで、皆さまをより円滑に適切な医療機関へ搬送するための取組です。



お問合せ先

大隅肝属地区消防組合 警防課
TEL：0994-52-1193



◀マイナ保険証の利用登録はこちら